

会 議 録

会 議 名	小金井市文化財保護審議会（令和3年度第4回）		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	令和4年3月14日（月）午後2時から3時5分		
開 催 場 所	第二庁舎8階801会議室		
出 席 委 員	二宮修治会長 伊藤裕久委員 椎名豊勝委員 狐島法夫委員 鈴木廣之委員 太田和子委員		
欠 席 委 員	なし		
出 席 職 員	関生涯学習課長 高木主事（学芸員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
	<p>1 報 告</p> <p>(1) 小金井村分水関連遺構について</p> <p>(2) 玉川上水・小金井桜整備活用計画について</p> <p>(3) 文化財講演会「人々に育まれた小金井桜と野草達」について</p> <p>(4) 地域史講座について</p> <p>(5) 文化財説明板について</p> <p>(6) 文化財センターの季節展について</p> <p>2 その他</p> <p>(1) 文化財行政に係る陳情について</p> <p>(2) 平代坂遺跡の発掘調査現地公開について</p> <p>3 配付資料</p> <p>(1) 小金井村分水関連遺構について (資料1)</p> <p>(2) 令和3年度 玉川上水・小金井桜整備事業について(資料2)</p>		

## 会 議 結 果

関生涯学習課長	<p>ただいまから令和3年度第4回文化財保護審議会を開催いたします。</p> <p>現在、まん延防止期間の再々延長中の期間ではございますが、感染防止対策を施した上で本日の会議を実施させていただきますことをご理解いただければ、と思います。</p> <p>現下の情勢下での開催でございますので、なるべく短時間となるよう事務局運営に努めさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事進行につきましては、二宮会長にお願いいたします。</p>
二 宮 会 長	<p>こんにちは。年度最後の第4回の会議に、皆様お集まりいただきましてありがとうございます。皆様お元気そうで何よりです。</p> <p>それでは、生涯学習課長からお話もありましたように、まん延防止期間中ではございますので、審議の方はなるべく速やかに進めて、手短かに終わらせたいと思っております。皆様よろしくお祈りいたします。</p> <p>それでは、次第に従って報告事項から進めていきたいと思っております。</p> <p>まず、「報告事項(1) 小金井村分水関連遺構について」を事務局からお願いします。</p>
関生涯学習課長	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 小金井村分水関連遺構について</p> <p>小金井村分水関連遺構につきまして、小金井市教育委員会にて報告させていただきましたので、皆様に改めてご報告させていただきます。</p> <p>令和3年11月9日(火)に開催されました、令和3年第10回小金井市教育委員会定例会において、小金井村分水関連遺構の一定の調査結果によって、「上貫橋」という構造物は、地域の歴史を紐解く上で、橋周辺の本町や貫井北町などの歴史的環境を窺い知る上で大変貴重な発見であったこと、また、小金井市文化財保護審議会 二宮会長名で「本遺構は、小金井市の近代史にとって貴重な歴史遺産であり、現状での保護が望ましい。」旨の建議書を、小金井市教育長宛てにいただいていることを、教育委員会定例会において報告いたしました。</p> <p>以上を踏まえまして、令和4年2月21日付けで、小金井市教育長名で、「上貫橋」が存在する小金井市本町住宅を所有している、東京都住宅供給公社理事長宛てに、文化財的価値を有する遺構物の、現地での未長い保存についての要望書を提出してございます。</p> <p>現在、今後の保存や活用に向けて、東京都住宅供給公社様と協議を行っていることを、まずはご報告させていただきます。</p>
高木主事(学芸員)	<p>続きまして、その経過の流れでも進展がございまして、関連遺構に関する調査結果につきまして、速報をお届けさせていただきます。</p> <p>資料1をご覧ください。</p> <p>令和3年度第3回文化財保護審議会におきまして、委員の皆様には現</p>

	<p>地視察を行っていただきました。その際にはコンクリート製の橋の橋台、そして、「上貫橋」と名付けられた本遺構についてご確認をいただきました。</p> <p>その後、ただいま生涯学習課長から報告のありましたように、土地所有者である東京都住宅供給公社宛てに要望書を提出し、その上で、橋に繋がる水路の痕跡を押さえるための所在確認を目的とした、再度の発掘調査を行うこととなり、令和4年3月8～9日の2日間をかけて調査を行いました。発掘を行った場所は「上貫橋」よりも玉川上水寄りの上流側になります。</p> <p>その結果、堀のような水路遺構が地下部分にしっかりと残されていることが確認できました。水路遺構の幅は上部の幅が約3メートル、深さは約1.4メートルの堀底となります。</p> <p>今後、本調査の結果については、詳細に分析を行っていくこととなりますが、今回「上貫橋」のみならず、分水跡についても発掘調査を行った、という事例は、小金井市のみならず、他自治体においても中々ないと考えられ、そのような点からも、非常に意義のある調査であったと考えています。</p> <p>補足になりますが、本調査においては全面の発掘調査は行わず、あくまで一部のみを切り取った形で調査を行っています。しかし当然ながら、今回発掘調査を行っていない範囲につきましても、同様な形の水路が地下部分に残っていることは間違いないと思われれます。今回の調査では、水路の規模、軸線という部分にメスを入れることができ、記録を作成することができた、という点では収穫は大きかったと考えています。</p> <p>速報であり、まだ不確かな部分もございますが、以上が現時点でのご報告となります。</p>
二 宮 会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>「報告事項(1) 小金井村分水関連遺構について」につきまして、現在までの経過報告と速報についてご報告いただきましたが、本報告に關しまして、何かご意見、ご質問等はございますか？</p>
伊 藤 委 員	<p>本遺構については、分水としては一般的な規模のものなのでしょうか？或いは、特殊性のあるものなのでしょうか？</p>
高木主事(学芸員)	<p>分水の堀の形状として、これが大きいか小さいか、また形が特殊なものなのか否かにつきましては、今後の比較検討課題と考えております。</p> <p>なぜなら、地下に残存している水路の発掘調査を行う、というケースはあまりないためです。他自治体、例えば国分寺市では、地下に埋まっていない、未だ開渠として残存しているものの調査を行った、というケースはありますが。</p>
伊 藤 委 員	<p>恋ヶ窪村分水は？かなり大きいと思います。</p>

高木主事(学芸員)	恋ヶ窪村分水は、地形上の条件から大きさや深さを変えていたり等、水の流れをよくするための工夫がなされています。そういった意味でも、今回の調査は、分水の調査研究、という観点からも非常に参考になるのではないかと思います。
伊藤委員	ありがとうございます。
二宮会長	玉川上水の分水の場合、他の分水では、引水して新田開発の際の用水として活用していた、という史実がありますが、本分水に関しては少し違うようですね。この用水を飲料水として活用していた集落があったのでしょうか？
高木主事(学芸員)	玉川上水の分水は、小金井市内において当時貴重な水源であり、さらにそこから細かく枝分かれをして、市内全域に網目状に水路を行き届かせていた、という状況でした。
二宮会長	場所的には、水は仙川に流れ込んでしまうのではないかと、という気がします。
高木主事(学芸員)	仙川と交差する箇所においては、本分水の先にある「築樋」と呼ばれる土木遺構で、仙川の上部を通す、という形を取っていました。
伊藤委員	なるほど。その辺の史実は既にわかっているわけですね。
二宮会長	そういう意味では、「築樋」については、その位置を含めて重要な土木遺構と言えます。
伊藤委員	令和3年度第3回審議会の際に視察した水門跡が分水の分岐点、ということですか？
高木主事(学芸員)	令和3年度第3回審議会の際に委員の皆様にご覧いただいた水門跡は、明治時代以降の分岐点となります。江戸時代の分岐点はまた異なる場所となります。
伊藤委員	使わなくなった分岐点を埋め立てた記録はあるのですか？堀底の様子を教えてください。
高木主事(学芸員)	玉川上水の分岐点を埋め立てる実態はよくわかりません。堀底について、今回の調査結果において興味深かった事実としては、上貫橋付近の分水路の埋没は短期間に進んだことです。その背景には昭和15年の陸軍技術研究所用地としての買収があったのではないかと

	<p>推測しています。埋没される直前までは、浚渫を徹底する等の水路の維持管理の状況が看取されます。</p>
太田委員	<p>小金井村分水に関する補足なのですが、分水が引かれた年代ははっきりとはわかっていないのですが、天和期、元禄期だったのではないかと、という説が出ています。その時期ですと、新田開発、というよりそれより前の時代の旧村、及び水田への水の供給元となっていたのではないかと、と評価されています。</p>
二宮会長	<p>水田だと珍しいです。</p>
太田委員	<p>玉川上水に近いエリアで、国分寺崖線下においては、水源として、低地にある野川から水を上げる、というのは難しかったのでしょうか。やはり水面が高地より低いので。</p> <p>ですから、国分寺市域においても水田に水を引いていますし、立川市域の柴崎用水なども水田用です。</p>
二宮会長	<p>国分寺崖線の湧水だけでは水量が不足していた、という理由でしょうか？</p>
太田委員	<p>それもありますが、湧水は水温が低いため、湧口から直接水を引くことはできず、水路を回して水温を上げた上で引かなければならない、という事情もあり、それよりは玉川上水から水を引くことができる、ということは重要だったのであろう、と考えられますので、小金井村、当時は未だ上・下小金井村に分村する前だったのでは、と言われていますが、地元にとっては、当時大変重要な分水だったのではないかと、と言われて</p>
二宮会長	<p>ありがとうございます。本件につきましては、本審議会におきましても引き続き議題とさせていただければ、と思っております。</p> <p>それでは、「報告事項(1) 小金井村分水関連遺構について」につきましては、以上でよろしいでしょうか？</p>
委員一同	<p>(特になし)</p>
二宮会長	<p>それでは引き続きまして、「報告事項(2) 玉川上水・小金井桜整備活用計画について」、内容的には2項目ございますが、こちらを事務局からお願いします。</p>
高木主事(学芸員)	<p>現在までの計画の進捗状況、そして今年度行った事業の結果につきましてご報告させていただきます。</p> <p>お手元の資料2に纏めております。</p>

	<p>これまで、平成22年度以降、10年間をかけて、毎年補植作業を、断続的に区間を設けて行ってきたところです。その結果、小金井橋～梶野橋区間が、既に一定程度作業が完了した範囲となります。さらに、東端及び西端の武蔵野市及び小平市と隣接しているエリアが未整備区間として残されており、本来であればその部分も区間を設けて、計画的に整備を進めていきたいところではございますが、現在未だ東京都並びに隣接市と調整中であることから、令和3年度につきましては、既に一定の作業が完了した、小金井橋～梶野橋区間の中で、欠損した既存木（古木）の補植作業を進めています。具体的には、令和4年2月15～16日に、小金井橋～梶野橋区間の中で、新たな苗木10本の植樹を完了しています。</p> <p>本事業は、小金井市にとって重要な事業であり、10年先、20年先を見据え、現状でできることをしっかりと進めていく、という方針であります。既整備区間においても、より事業効果を高める、という目的で、令和3年度においても10本の植樹を行った、ということになります。</p> <p>では、引き続きまして、小金井桜関連で、岩手県北上市の「展勝地」開園100周年記念植樹につきましてご報告させていただきます。</p> <p>令和3年11月23日に開催されました、「北上市展勝地開園100周年記念事業」に、小金井市長がご招待いただきましたので、市長並びに随員として生涯学習課長が参加させていただきました。</p> <p>まず、展勝地SL広場において、記念植樹式が行われ、令和2年に「名勝小金井桜の会」様より小金井市にご寄付をいただいた苗木5本を、小金井市より北上市に寄贈させていただきましたが、そのうち2本を植樹式の場にて、小金井市長並びに苗木をご寄付いただいた「名勝小金井桜の会」の小沼会長の2名にて植樹させていただきました。その後、記念式典、祝賀会と続き、北上市との交流をより一層深めることができましたことをご報告申し上げます。</p> <p>以上で報告を終わります。</p>
<p>関生涯学習課長</p>	
<p>二宮会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>「報告事項(2) 玉川上水・小金井桜整備活用計画について」につきまして、ご意見・ご質問等ございますか？</p>
<p>委員一同</p>	<p>(特になし)</p>
<p>二宮会長</p>	<p>いずれにしても、「玉川上水・小金井桜整備活用事業」につきましては、本審議会においても、今後も継続して取り扱っていくテーマになるかと思っておりますので、次年度以降もこのような形で進めてまいりたいと考えております。</p> <p>それでは引き続きまして、「報告事項(3) 文化財講演会『人々に育まれた小金井桜と野草達』について」を事務局からお願いします。</p>

高木主事(学芸員)	<p>令和3年11月25日に、東京文化財ウィークの企画事業の一環として、「文化財講演会」を実施いたしました。講師は本審議会の委員でもある椎名委員にお願いさせていただきました。</p> <p>「人々に育まれた小金井桜と野草達」というテーマで、史跡「玉川上水」及び名勝「小金井（サクラ）」の整備活用事業を現在進めている中で、令和2年度に1年間かけて、椎名委員に玉川上水の堤で実施していただいた植生調査の結果を踏まえ、事業の効果を確認すると同時に、小金井桜だけではなく、玉川上水沿いに広がる、多様性豊かな大正時代以前の本来の景観を今一度考え直そう、という趣旨で開催したものです。</p> <p>非常に関心の高いテーマで反響も大きく、大勢の方に御参加いただきました。市の方からも、本事業にご協力をいただいている市民の方々や、逆に本事業について慎重なご意見をお持ちの市民の方々などにお声かけをさせていただき、本来ある「史跡」と「名勝」の重要性について椎名委員よりご説明いただく、貴重な機会とすることができたと考えております。現地調査に基づいた内容のお話で、講演会を通じて受講者の皆様の理解も進んだのではないかと個人的には感じています。</p> <p>今回の文化財講演会の中で1つのきっかけとすることができたのではないかと考えておりますので、引き続きPRに努めてまいりたいと考えております。</p>
二宮会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>椎名委員はお疲れ様でございました。では椎名委員、何か一言お願いします。</p>
椎名委員	<p>いろいろな方がいらっしゃったようですが、皆様思ったよりも大人しく聴いてくださったのかな、と。どのような方がお越しになられていたのかは私にはわかりませんが、きちんと聴いていただけたのかな、と大変嬉しく思っております。ありがとうございました。</p>
二宮会長	<p>これからは、他市との連携も大変重要になってくると思われまので、そういう意味では「小金井モデル」的な色を1つ出していただけたのではないかと考えております。本審議会としましても、引き続きバックアップする形で進めていければ、と考えております。</p> <p>それでは、「報告事項(3) 文化財講演会『人々に育まれた小金井桜と野草達』について」につきましても、以上でよろしいでしょうか？</p>
委員一同	<p>(特になし)</p>
二宮会長	<p>それでは引き続きまして、「報告事項(4) 地域史講座について」、こちらを事務局からお願いします。</p>

関生涯学習課長

では、令和3年度の地域史講座につきまして、私の方からご報告させていただきます。口頭にてご報告させていただきます。

令和3年度の地域史講座は、タイトルを「小金井市史を読む」と銘打ち、平成30年度に作成いたしました「小金井市史 通史編」の編集に携わっていただいた市史編さん委員会の編集委員の方々にご講演をいただき、大きく4つに時代を区分し（「原始・古代～中世編」「近世編」「近代編」「現代編」）、それぞれの区分の部会長を務めてくださった委員の方から、それぞれの時代の小金井の特徴や魅力などを直接お伺いできる場として、計4回実施したものです。

まず、第1回目は、時代を遡って「現代編」からスタートし、令和3年12月11日（土）に実施しました。以降、第2回は「近代編」で令和3年12月25日（土）に実施しました。年明け後、第3回を「近世編」で令和4年2月5日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う「まん延防止措置」の重点措置期間に入った直後であり、感染者数も非常に増えていたことから、2月5日の開催は見合わせ、令和4年3月12日（土）に開催させていただきました。第4回の「考古・中世編」につきましては、令和4年3月5日（土）に開催させていただきました。会場につきましては、いずれも文化財センターにて開催させていただきました。

受講者数につきましては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点や、会場の「文化財センター学習室」があまり広いスペースではないことから、定員の半数、人数的には各回20名前後に絞らせていただいた形でご参加いただきました。

先ほどご報告させていただきました「文化財講演会」につきましても同様の傾向はございましたが、市報による広報の反響は大きく、申込は大変多かった、という状況でございました。コロナ禍、という現状ではございますが、やはり小金井市民の皆様こういった講座に対する参加意欲の高さを実感したところです。

本来、今回の講座は「通史編」を発行した翌年度の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和元年度、令和2年度と2年連続で、講座の開催自体を見合わせざるを得ず、令和3年度によりやく開催することができました。

そして、多くの熱心な市民の方々にご参加いただき、無事開催することができましたことをご報告させていただきます。

私からの報告は以上です。

二 宮 会 長

ありがとうございます。

本報告に関しまして、何かご意見、ご質問等はございますか？

本講座の講話内容については、録音等は行っているのでしょうか？

関生涯学習課長

いいえ。特に録音等は行っておりません。



二宮会長	<p>せっかくこのような機会ですので、原稿起こしたものを残すことができれば面白い、と思ったものですから。今回は録音データがないのでできませんが。</p> <p>それでは、「報告事項(4) 地域史講座について」につきまして、以上でよろしいでしょうか？</p>
委員一同	(特になし)
二宮会長	<p>それでは引き続きまして、「報告事項(5) 文化財説明板について」、こちらを事務局からお願いします。</p>
高木主事(学芸員)	<p>こちらは事業が未実施のため、事前のご報告になりますが、令和3年度の文化財説明板の作成につきましては、新規のものを作成するのではなく、既存の説明板の補修を行わせていただきます。</p> <p>現在、経年劣化によって表面に錆が生じているもの、文字がかすれてしまっているもの、汚れが酷いもの等も少なくなく、市民の方からお声をいただく機会も多い、という現状があることから、今後は新規のもの作成と同時に、既存の説明板の補修も必要になってくる、ということもあり、令和3年度は2箇所の説明板につき、補修を行います。</p> <p>1箇所は、市指定有形文化財の「閻魔堂木造閻魔王坐像」もう1箇所は本町にある石造物「宝永四年六地藏」の2箇所について、説明板の補修を行います。記載している説明文はそのままに、説明板のみ補修を行うものです。設置は令和4年3月下旬を予定しています。</p>
二宮会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>「報告事項(5) 文化財説明板について」につきまして、ご意見・ご質問等ございますか？</p>
委員一同	(特になし)
二宮会長	<p>それでは、次第の上では報告事項は「(5)」までになっていますが、1点追加がある、ということですので、引き続き「報告事項(6) 文化財センターの季節展について」、こちらを事務局からお願いします。</p>
高木主事(学芸員)	<p>春の時期に合わせて実施している季節展「名勝小金井桜展」です。小金井市で所蔵している錦絵や、明治・大正時代の写真といったものをコレクションから出し、周知を図るものです。</p> <p>ありがとうございました。</p>
二宮会長	<p>それでは、ただいま追加になりました「報告事項(6) 文化財センターの季節展について」につきまして、ご意見・ご質問等ございますか？</p>

<p>委員一同 二宮会長</p>	<p>(特になし)</p> <p>コロナ禍、という現状がございますので、感染対策等には万全を期していただいた上で進めていただければ、と思います。よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、本日の報告事項は以上になりますが、最後に報告事項(1)～(6)を通じて、ご意見・ご質問等ございますか？</p> <p>(特になし)</p>
<p>委員一同 二宮会長</p>	<p>それでは、報告事項につきましては以上とさせていただきます。</p> <p>引き続きまして、「その他」に移らせていただきます。本日は2点ございます。</p> <p>まず、「その他(1) 文化財行政に係る陳情について」、こちらを事務局からお願いします。</p>
<p>関生涯学習課長</p>	<p>それでは、市議会の文化財に係る陳情審査につきまして、私の方からご報告させていただきます。</p> <p>件数は3件ございました。</p> <p>まず、名勝小金井桜に係る陳情が2件、市議会に提出され、小金井市議会厚生文教委員会において、一定の審査がなされました。</p> <p>陳情の件名につきましては、1件目は「3陳情第35号 玉川上水・名勝小金井桜復活プロジェクトの検証・及び今後の整備は、市民の理解と合意を得て進めることを求める陳情書」でございます。2件目は、「4陳情第2号 玉川上水の桜の問題に関する陳情書」でございます。</p> <p>これらはいずれも、内容は桜以外の樹木を伐採することに対する慎重なご意見、玉川上水・名勝小金井桜復活事業の、事業の進め方に対する慎重なご意見をいただいたものと認識してございます。</p> <p>2件の陳情につきましては、いずれも市議会において慎重に審議され、その結果、市議会のご意思といたしましては、いずれの陳情も「不採択」となりました。特に1件目の陳情に関しましては、一定の期間、長きに渡り審査をいただき、その間に椎名委員に講師をお願いさせていただいた「文化財講演会」も開催され、議員の方も多数お見えになりました。</p> <p>もう1件の文化財関係の陳情につきましては、件名は「3陳情第45号 小金井市における縄文遺跡群の、次世代に向けた保存活動の推進を求める陳情書」でございます。</p> <p>こちらの陳情につきましても、他の2件と同様、小金井市議会厚生文教委員会において、慎重な審査がなされました。その結果、市議会のご意思といたしましては、こちらの陳情は「不採択」となりました。</p> <p>以上、市議会の文化財に係る3件の陳情につきましてご報告させていただきました。</p>

<p>二宮会長</p>	<p>以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>大変難しい問題であろうと考えますが、何かご意見、ご質問等はございますか？</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>今ご報告いただいた中で、3件目の、縄文遺跡関連の陳情の具体的な内容はどのようなものだったのでしょうか？</p>
<p>関生涯学習課長</p>	<p>内容につきましてですが、野川沿いの、「縄文遺跡群」という呼び方をしている遺跡について、更なる周知・啓発、具体的には看板の設置等を行っていないか、という内容でございました。</p> <p>陳情の中には具体的な陳情項目、というものがございまして、そちらにつきまして申し上げますと、「出土品と画像のデータベース化を進め、研究者や市民が、気軽にアクセスできる環境を整備すること」、「遺跡出土地への立看板の設置を徹底すること」、及び「立看板の設置と並行して、マップなどを作成し、小金井市縄文遺跡群の認知向上を図ること」、そして4項目目が、「はけの環境保護活動は、縄文遺跡群の保護でもある、との認識を付け加える」というものでございました。</p>
<p>二宮会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、引き続きまして、「その他(2) 平代坂遺跡の発掘調査現地公開について」、こちらを事務局からお願いします。</p>
<p>高木主事(学芸員)</p>	<p>本件につきましては、お知らせ及び情報提供、という形でご報告させていただきます。</p> <p>今回、前原町三丁目の平代坂遺跡の発掘調査において、小金井市では珍しい中世（鎌倉時代・戦国時代）の遺構・遺物が発見されました。</p> <p>これまでの小金井市内においては中世・近世等の比較的新しい時代の遺跡はあまり発見されてこなかった中で、今回の調査において中世の深い溝、地下室等の土木遺構や、出土品で言いますと中世の陶器、中国で作られた青磁、板碑等が発掘されました。</p> <p>このような事実から、中世の時期に、市内の前原町一帯において、何らかの活動がなされてきたことが判明しましたので、これは是非多くの方に生で見て欲しい、ということで、令和4年3月26日（土）に午前・午後の2回に分けて遺跡見学会を行います。</p> <p>そして、開催協力として現在調査を行っていただいている調査業者様、開発事業者様のお名前を入れさせていただいており、こういった方々のご理解ご協力があって、今回小金井市教育委員会主催、という形で見学会を実施させていただくことができました。</p> <p>本見学会は急遽実施できることが決まった、という状況ではございましたが、市報への掲載、市内全小中学校へのチラシ配布、掲示等ででき</p>

	<p>る限りの周知を図らせていただいています。 報告は以上です。</p>
二 宮 会 長	<p>ありがとうございました。 「その他(2) 平代坂遺跡の発掘調査現地公開について」につきまして、ご意見・ご質問等ございますか？</p>
鈴 木 委 員	<p>チラシに掲載されている地図から見ると、市役所本庁舎と同じ程度の面積の現場、と読み取れますが、相当広い土地なのではないでしょうか？</p>
高木主事(学芸員)	<p>国分寺崖線を跨ぐ敷地となっており、市役所本庁舎の敷地と同等、またはそれ以上の面積を有する非常に広い敷地です。非常に広い発掘現場であるが故に非常に多くの遺構を発見することができたのでは、という印象も持っています。</p>
鈴 木 委 員	<p>こちらにはマンション等が建設されるのでしょうか？</p>
高木主事(学芸員)	<p>新設道路を含む戸建住宅群の建設が予定されています。</p>
鈴 木 委 員	<p>南北に、崖の上から下まで1つの敷地となっているのでしょうか？</p>
高木主事(学芸員)	<p>高低差のある敷地となります。現在発掘調査を行っているのは低い部分であり、その部分で中世の遺構が発見されました。今後、令和4年4月以降に発掘調査を行う高い部分では、おそらく縄文時代の遺跡が発掘されるものと思われます。 平代坂遺跡の元々の範囲は高い部分のみとなります。今回低い部分で中世の遺構が発見されたことを受けて、今後遺跡範囲の見直し・拡大等も検討する必要があると考えています。</p>
鈴 木 委 員	<p>今回発見された遺跡は、集落の遺構なのでしょうか？それとも、土豪のような屋敷の遺構なのでしょうか？</p>
高木主事(学芸員)	<p>非常に判断が難しいところです。 土豪等の屋敷の遺跡の場合、通常ですと陶磁器等が出土品として発見されることが多いのですが、今回の調査においては出土品が非常に少ない、一方集落と判断するにも決定打がない、というのが現状です。 現時点までの調査においては、おそらく敷地境、屋敷境を示す堀や地下式坑、建物の柱跡と思われるもの等が発見されております。現時点での調査報告としてはここまでとなりますが、今後のさらなる調査、及び分析次第で性格付けができるのか、小金井市においては中世の時代の記録、古文書が残っていませんが、中世の時代に前原町のエリアで何らかの動きがあったことは間違いない、と考えています。</p>

鈴木委員	低いエリアの調査は既にすべて終わっている、ということなのでしょう うか？
高木主事(学芸員)	低いエリアは令和4年3月末までの調査期間を想定しています。調査 の最終局面の時期に見学会を実施する、ということになります。 4月以降は、高いエリアに移行します。
鈴木委員	住居跡は発見されたのでしょうか？
高木主事(学芸員)	中世の住居跡としましては、柱の跡は発見されていますが、それが屋 敷等の建物の跡なのか、或いはお堂のようなものの跡なのか、その辺り はまだはっきりとはしておらず、屋敷だけではなく、そのような宗教的 な空間も念頭に入れながら調査、分析を進めていくこととなります。
鈴木委員	「平代坂」という坂の名前には何か由来はあるのですか？
高木主事(学芸員)	平代坂沿いには元々「梶平太夫」の屋敷があり、名前が転じて「平代 坂」となったという云われがあります。それ1つを取っても「梶家」と いう家が非常に古くからの家柄である、ということが言えます。 今回の発掘作業の中では文明年間の板碑が発見されています。 そのことから、戦国時代初期、或いはそれよりも前の時代から、何ら かの活動があった、ということは言えるのではないかと考えています。 今後、記録の少ない中世の小金井については、考え直す必要もあると 考えています。 なお、梶家では、市の指定有形文化財である板碑を50枚所蔵してお り、前原町三丁目一带に板碑が林立していた景観が推測されます。
太田委員	板碑が多く発見されたのはもう少し南側のエリアですよね？
高木主事(学芸員)	梶家所蔵板碑については、梶家の南側の野川沿いのエリアで発見され たもの、又は梶家の敷地内で発見されたもの、という言い伝えもあるの で、おそらく前原町三丁目一带、野川近辺のエリアにそれなりに広範囲 に造立されていたのではないかと、というイメージを持っています。
椎名委員	いわゆる「国分寺崖線下文化」のようなものはあったのでしょうか？
高木主事(学芸員)	野川沿いですと、国分寺市では、中世にも国分寺が存在し、薬師堂も 建てられました。当然、薬師堂に向かう薬師道が小金井市内にもありま す。野川下流方面には深大寺があり、宗教的な施設がある、ということ は近辺に城があったのでは、という予測もできますが、小金井にはなか なかイメージのつきづらい場所です。

<p>椎名委員</p>	<p>それは新田開発とは全く別の時代の話になりますね。 それより前の時代に、前原町一帯には宗教的なエリアがあったのかもしれない。</p>
<p>太田委員</p>	<p>年代はわかりませんが、元弁天、貫井弁天が元々あったエリアも崖線の下ですし、そのようなことを考えると、中世の時代の崖線下の様子については、これまではっきりとわかっていなかったですが、今回の発見を機に少しでも目途がつくといいな、と思います。</p>
<p>高木主事(学芸員)</p>	<p>遺跡の「範囲」というものはあくまで行政上のものに過ぎず、遺跡自体は、本質的にどこにでも広がっている、ということの証であると言えます。 行政といたしましては、大規模な開発工事が行われる際には、たとえ包蔵地外であっても慎重に確認する必要があると考えており、今回の調査をきっかけとして、そのような部分についてもより周知を深めていく必要があると考えています。</p>
<p>二宮会長</p>	<p>ありがとうございました。 委員の皆様も、日程が合いましたら是非当日、ご参加いただけたら、と思います。 それでは、他にご意見・ご質問等ございますか？よろしいでしょうか？</p>
<p>委員一同</p>	<p>(特になし)</p>
<p>二宮会長</p>	<p>それでは、予定されていた会議内容につきましては全部終了しました。 最後に、令和4年度の会議日程につきまして確認したいと思います。事務局の方からお願いします。</p>
<p>高木主事(学芸員)</p>	<p>次回会議につきましては、年度が替わりまして、5月11日(水)を予定しております。開催通知につきましては、後日改めてお出しさせていただきます。</p>
<p>二宮会長</p>	<p>皆様5月11日(水)でご都合はよろしいでしょうか？</p>
<p>委員一同</p>	<p>(異議なし)</p>
<p>二宮会長</p>	<p>それでは、次回会議は5月11日(水)午前10時から、小金井市役所にて予定させていただきたい、と思います。よろしく願いいたします。</p>

<p>関生涯学習課長</p>	<p>本文化財保護審議会につきましては、これまでの間、第8期委員の皆様でご審議の方、進めていただきましたが、令和4年5月10日を以て、第8期の任期が満了となります。</p> <p>そのため、第8期の委員の皆様によるご審議は、今回を持ちまして終了となります。</p> <p>今まで本当にありがとうございました。</p> <p>そして、引き続き第9期委員にご就任くださる方におかれましては、今後とも何卒よろしくお願いいたします。</p> <p>現在、皆様には第9期委員へのご就任に係る意向確認書のご提出をお願いさせていただいておりますが、まだご提出いただいている方におかれましては、事務局までご提出をお願いいたします。</p> <p>私からは以上です。</p>
<p>二宮会長</p>	<p>ありがとうございました。最後に、委員の皆様から何かご意見等ございますか？</p>
<p>委員一同</p>	<p>(特になし)</p>
<p>二宮会長</p>	<p>それでは、以上で本日の会議を終了させていただきます。どうもお疲れ様でした。</p>

--	--